ICOM

取扱説明書

ACCESS POINT MANAGEMENT TOOL

RS−AP2

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、複数の無線アクセスポイントを一元管理する無線アクセスポイント管理ツールです。

ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

安全上のご注意

⚠ 警告 下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎**分解、改造しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎**水などでぬれやすい場所（加湿器のそばなど）に設置しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎**ぬれた手で本製品やコネクターに触らないでください。**
本製品をパソコンから抜き差しするときに、ぬれた手がコネクター部にふれると、感電、故障の原因になります。

◎**本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎**赤ちゃんや小さなお子さまの手に届かない場所で使用、保管してください。**
火災、けがの原因になります。

⚠ 注意 下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

◎**落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
けが、故障の原因になることがあります。

◎**本製品の上に重いものを置かないでください。**
火災、故障の原因となることがあります。

◎**本製品を抜き差しするときは、無理な力を加えないでください。**
故障・破損の原因となることがあります。

◎**清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対に使用しないでください。**
筐体が変質したり、塗料がはがれたりする原因になることがありますので、乾いたやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

◎**長時間使用すると、筐体が高温になることがありますので、取り扱いにはご注意ください。**

◎**直射日光のあたる場所や空調機器の吹きだし口など、温度変化の激しい場所や風雨が直接あたる場所には設置しないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。

◎**湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所には設置しないでください。**
また、本製品どうしやほかの製品と重ねて置かないでください。
火災、故障の原因となることがあります。

免責事項について

お客様または第三者が、取扱説明書記載の使用方法とは異なる使用方法で本製品を使用したことにより生じた故障、ならびに本製品の違法な使用により生じた故障につきましては、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
本製品の使用により本製品以外に生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

標準構成品

RS-AP2(USBメモリー) ····· 1
取扱説明書(本書)
保証書

動作環境について

【パソコンについて】
◎CPUクロック :2GHz以上
(32ビット〈x86〉または64ビット〈x64〉プロセッサ)
◎システムメモリー :2GB以上
◎ハードディスクの空き容量 :2GB以上

【対応OSについて】
◎Windows Server 2008★
◎Windows Server 2003★
◎Windows Vista(Service Pack1以降)★
◎Windows XP(Service Pack2以降)★

★本書では、本製品の各対応OSに対する記載について、下記のように表記しています。
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard 32 bit、Microsoft® Windows Server® 2008 Standard、Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise 32 bit、Microsoft® Windows Server® 2008 Enterpriseは、Windows Server 2008と表記します。

Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition、Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition、Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition、Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition、Microsoft® Windows Server® 2003 Standard x64 Edition、Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise x64 Edition、Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard x64 Edition、Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise x64 Editionは、Windows Server 2003と表記します。

Microsoft® Windows Vista® Home Basic、Microsoft® Windows Vista® Home Premium、Microsoft® Windows Vista® BusinessおよびMicrosoft® Windows Vista® Ultimateは、Windows Vistaと表記します。

Microsoft® Windows® XP Professional 、Microsoft® Windows® XP Home Editionは、Windows XPと表記します。

本製品を使用できるのは日本国内に限られています。

RS-AP2導入時のご注意

ご使用の前に、RS-AP2で管理する無線アクセスポイントのファームウェアをすべてRS-AP2初期設定専用ファームウェアに書き換える必要があります。
RS-AP2初期設定専用ファームウェア(拡張子:dat)は、RS-AP2内の「BOOT」フォルダーにあります。
ファイル名に無線アクセスポイントの製品名が入っていますので、該当する無線アクセスポイントのRS-AP2初期設定専用ファームウェアをご使用ください。
ファームウェアの書き換え方法は、ご使用になる無線アクセスポイントの取扱説明書(ファームウェアをバージョンアップする)をご覧ください。
※RS-AP2初期設定専用ファームウェアに書き換えると、無線アクセスポイントの設定は、いったん初期化され、RS-AP2の個別設定画面、共通設定画面の設定が反映されます。
※RS-AP2初期設定専用ファームウェアから、無線アクセスポイントのファームウェアに戻すときは、RS-AP2に収録の操作説明書をご覧ください。

ネットワーク構成のご注意

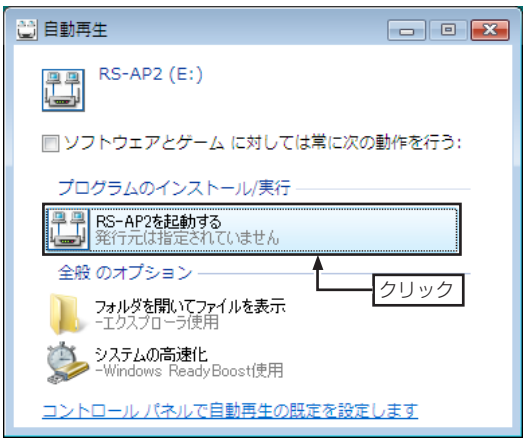
RS-AP2での設定内容は、ファームウェアとして、TFTPプロトコルを使用して管理する無線アクセスポイントに転送されます。
したがって、RS-AP2と無線アクセスポイント間のネットワーク通信は、帯域特性、および遅延特性が良好な環境になるようにネットワークを構成してください。

ファイアウォールをご使用の場合

Windows XP/Windows Vistaやウィルス対策ソフトウェア、またはインターネットセキュリティーソフトウェアをご使用の場合、必要な通信が阻害され、正常に動作しない場合があります。
ご使用の前に、ファイアウォールの設定をご確認ください。

RS-AP2を使用するとき

本製品を起動するには、必ずRS-AP2をパソコンのUSBポートに差し込んでください。
本製品をパソコンのUSBポートに差し込むと、自動再生画面が表示されるので、「RS-AP2を起動する」をクリックします。



自動再生画面が表示しない場合は、[エクスプローラ]を起動して、RS-AP2内の[RS-AP2.exe]をダブルクリックしてください。

操作説明書について

RS-AP2内に収録されています。
[エクスプローラ]を起動して、[manual.pdf]をダブルクリックしてください。
操作説明書をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。
※お持ちでない場合は、Adobe®ホームページからソフトウェアをダウンロードしてください。

RS-AP2を取りはずすときのご注意

RS-AP2をパソコンから取りはずすとき、パソコンのタスクバーから、「ハードウェアの安全な取り外し」の操作をしてから取りはずしてください。
「ハードウェアの安全な取り外し」の操作をせずに、RS-AP2をパソコンから取りはずすと、RS-AP2内のファイルが壊れたり、RS-AP2が壊れたりする原因になることがあります。

RS-AP2内のファイルについて

RS-AP2とUSBキーは関連付けされていますので、RS-AP2内のファイルをハードディスクやほかの媒体にコピーしても、RS-AP2は動作しません。
また、RS-AP2からファイルを削除したり、フォーマットしたりすると、RS-AP2は動作しなくなります。
その場合、有償修理となりますので、ご注意ください。

本製品のライセンスについて

ライセンスは、次のようになっています。 **(2009年6月現在)**

◎RS-AP2 #51
無線アクセスポイント管理台数 :最大2000台/64グループ合計 最大128台/1グループ
グループ数 :最大64グループ

◎RS-AP2 #52
無線アクセスポイント管理台数 :最大20台/20グループ合計 最大20台/1グループ
グループ数 :最大20グループ

◎RS-AP2 #53(近日発売予定)
RS-AP2 #52からRS-AP2 #51へのアップグレードライセンスです。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、WAVEMASTERは、アイコム株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
アイコム株式会社の著作物の全部、または一部を無断記載、複写およびいかなる方法による複製も禁止します。
本プログラムおよび本ドキュメントは、アイコム株式会社が著作権を保有します。

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

高品質がテーマです。
A-6770W-1J Printed in Japan
© 2009 Icom Inc.